

別記様式

令和7年度第4回米原市自治基本条例推進委員会 会議録（要点筆記）

会議名	令和7年度第4回米原市自治基本条例推進委員会
開催日時	令和7年9月18日（木）午後7時～午後9時
開催場所	米原市役所本庁舎 会議室3-D E
出席者および欠席者	<p>出席者（敬称略・順不同）</p> <p>委員：大橋松行会長、上田洋平副会長、植田淳平委員、岡田友美委員、高橋滝治郎委員、法山照人委員、福永ひろみ委員、松居悟委員、山田輝子委員 (欠席：北澤あさこ委員、草野丈太委員、清水元幾委員)</p> <p>米原市：川瀬政策推進部長 政策推進部政策推進課：村口課長、萬木補佐、田野主幹、鈴木主任 株サンワコン：藤原、長谷川、鹿内</p>
議題	<p>(1) 第1回市民ワークショップについて（資料1）</p> <p>(2) 第3期米原市人口ビジョン（案）について（資料2）</p> <p>(3) 第3次米原市総合計画骨子（たたき台）について（資料3、参考資料）</p>
結論	<p>(1) 第1回市民ワークショップについて 引き続き、市民ワークショップを開催し、意見交換を行う。</p> <p>(2) 第3期米原市人口ビジョン（案）について 引き続き、第3期米原市人口ビジョン（案）の策定作業を進める。</p> <p>(3) 第3次米原市総合計画骨子（たたき台）について 引き続き、第3次米原市総合計画骨子（たたき台）の作成作業を進める。</p>

審議経過	会長あいさつ
	2 第1回市民ワークショップについて（資料1） <ul style="list-style-type: none">・質疑なし
会長	3 第3期米原市人口ビジョン（案）について（資料2） <ul style="list-style-type: none">・社人研のデータを使用しているが、全て中位水準で算出しているのか。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・P18に社人研ベースの推移グラフがある。社人研の中位水準のデータを使っているが、一部端数処理をしている。
会長	<ul style="list-style-type: none">・中位水準のシナリオだということを確認させていただいた。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・P8の下の図、自然増減、社会増減の推移について、2005年、2007年、2016年は社会増になっているが、どのような要因があったのか。
会長	<ul style="list-style-type: none">・宅地開発による影響が一因であると考えている。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・P9の婚姻率であるが、全国や滋賀県に比べて米原市の婚姻率が低い。これは何によるものなのか。
会長	<ul style="list-style-type: none">・あくまでも現時点での仮説であるが、転出者も転入者も単身の方が多い。米原市は単身世帯が多い状況であり、そういうことも影響しているのではないかと思う。
	<ul style="list-style-type: none">・ただ、それだけで説明しきれるものではなく、市としてこの部分を解明して、対策していく必要があると考えている。
会長	<ul style="list-style-type: none">・P10の合計特殊出生率は、滋賀県あるいは全国に比べて高い水準であり、人口が減っている中で薄明りが差しているのではないかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・P11の年齢階級別人口移動のところであるが、20代の転出超過は分かるが、この下の表を見ると40～49歳も、特に昨年は流出している。20代が転出するのは分かるが、40代が転出しているというのは、どのような理由があるのか。
会長	<ul style="list-style-type: none">・確かに転出しているが、明確な仮説は持ち合わせていない。
	<ul style="list-style-type: none">・子育て世代に該当する部分があるのかもしれないが、微妙なところである。
事務局	<ul style="list-style-type: none">・P23であるが、この部分は非常に重要な視点である。今後、人口減少は避けられない中で、それを見据えた持続可能なまちづくりを進めるという視点は大事であり、この文章は良いと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none">・P25には、「現実的な方向性で…」という表記があるが、やはり現実的ということは大事であり、現実離れした合計特殊出生率等では全

	<p>く意味がなく、より現実的な推計をして、それに基づいてビジョンを立ててほしいと思う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・P26の社会移動も、現実的、適切な記載をしていただいていると思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・合計特殊出生率は国や県が上げようとしている状況がある。市民アンケート調査の中でも、将来のまちのイメージとして、出産、子育てがしやすく、人が集まるまちづくりを期待しているという回答が非常に多かった。 ・やはり、子育て支援というのは非常に大事だと思う。子どもが1人より2人、3人、そういう家庭をつくる支援が市に求められると思う。いかに個性ある施策をPRして人を呼んでくるのか、ということが非常に大事であり、人口を維持する上でより効果的だと思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・婚姻率の低さというのは本市の産業構造に関連があるのでないか。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・転入した方の世帯構成は約70%が単身である。仮説であるが、米原市は製造業が強く、大きな工場も多い。そういう状況が影響している可能性はある。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・外国の方の扱いはどうしているのか。 ・国勢調査ベースであり、外国の方も含まれている。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・国鉄時代、米原には国鉄の社員が全国から転入し、定着して、家族を作つて来たと思う。その時代に転入して来た方が今どうなっているのか、そのあたりもしっかりと把握して対策を進めていく必要があると思う。
副会長	<ul style="list-style-type: none"> ・P3の人口推移のところで、一括りに人口減少と言っているが、2015年と2020年を比較したときに、地域によって減少率が全然違う。 ・やはり生活拠点となる場所と、働く産業の場所はきちんと区分けして考えていく必要があると思う。生活拠点がまばらになることでインフラ維持が負担になっていく。便利な部分、自然を残す部分を点在させて維持していくのは徐々に不可能になってくると思われるので、行政主導のきちんとした区分け、色分けが必要だと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> ・P22の4行目について、自治会や地域コミュニティの活動は、今働いている年齢層の人たちというよりも、リタイアした人たちが守っている部分が大きいと思う。 ・私が住んでいる地域では、基本的に地域のことは60歳を超えた方が

	<p>やっている。生産年齢人口および年少人口の減少によって地域コミュニティ等が機能しなくなるとあるが、なんとなく違和感があり、生産年齢人口だけがいても機能しないのではないかと感じた。</p> <ul style="list-style-type: none"> 実際の問題はP18の中にあるとおり、人口減少の第2段階では高齢者人口も減ってくることになる。高齢者人口も減少するということで、ここの書きぶりに関しては、修正が必要だと思う。
事務局 副会長	<ul style="list-style-type: none"> 今のことに関連して、もう一つの問題は、働いていると地域のことには関われない。生産年齢人口が減っていくので、地域としても厳しくなるが、そういう地域と仕事のバランスの問題も出てくる。 P24の赤字のところ「転入超過の傾向は、近年転出超過となっています。」とあるが、もう少し説明が欲しい。これまで転入超過の傾向だったが、近年は転出超過に転じたということが分かるように。また、「…転出超過人数を押し上げ、…」というところも。
事務局 副会長	<ul style="list-style-type: none"> それぞれ、「転入超過の傾向がありました」が、近年は転出超過となっています。」「…転出超過の状況を是正し、…」等に修正したい。 目標値が実績値とそれほど乖離しなかったということがこれまでにあったのか。
事務局 会長	<ul style="list-style-type: none"> 社人研も下方修正である。今の状態を様々な条件のもと延長するとこうなるというのが人口推計であり、そういう意味では、その時になかった要因があったということだと考えられる。 P24の【課題・問題点】のところで、「生産年齢人口の維持（特に20～30代）が喫緊の課題」とあるが、先ほど見たようにP11では40～49歳も減少しており、「（特に20～40代）」のほうが良いのではないか。
事務局 委員	<ul style="list-style-type: none"> P11では40～49歳のところがマイナスになっており、30代までとすることは問題があるので修正する。 P12の性別・年齢階級別人口移動の最後に、「女性は30代前半から30代後半、30代後半から40代前半の人口流入が多くなっています」とある。これは、2015年から2020年の5年間のデータに基づくものであるが、P8の下の図をみると2016年だけが社会増になっており、たまたまこの5年間に女性が増えたということであるならば、傾向としてそうなっていると書くのはどうかと思う。
事務局	<ul style="list-style-type: none"> この点に関しては、追加の分析が必要かと思う。その上で、P13の表現が適切なのかどうか、検証したい。

	<p>3 第3次米原市総合計画骨子（たたき台）について（資料3、参考資料）</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者がまちづくりにかかわるような、具体的な取組、例えば米原を動画でPRというコンテストがあったが、それ以外に何かあるか。
委員 事務局	<ul style="list-style-type: none"> 以前、市議会と高校生が一緒にワークショップを行い、まちづくりの提言をするというものを実施された。また、米原市のイベントに高校生の方々に関わっていただいたり、中学生が総合的学習の中で地域のイベントに参画するということもやっている。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 2番目の柱の「子ども・次世代の育成・成長をみんなで見守るまちづくり」について、地域で支えるのはもちろん大事だが、市として子育てをしっかり支援する部分をもう少し出しても良いと思う。 3番目の柱の「地域の魅力を生かした交流や産業が元気な循環型のまちづくり」は、観光や産業を主体とした書きぶりになっているが、先ほどの話の中にあったように、交通の利便性や自然があるというところに移住者を増やすという視点が含まれているなら、それも触れた方が良いと思う。 4番目の柱の「快適で便利な暮らしを支える集約型のまちづくり」のところでは、交通ネットワークを確立し、市全体で快適で便利な暮らしを支える都市を形成することであるため、集約型という言葉をポンと上げてしまうことではないという気がした。 5番目の柱の環境のところで、これを計画の中に入れるのは良いと思う。その中で参画による自然資源の保全ということでは、特に、子どもたちの環境教育という部分が大事だと思っている。自然災害もある中で、教育委員会の方では環境学習に取り組んでいる。中学校の生徒会が、本当に関心を持って、現場を見て、学校に持ち帰って考えている。そういう環境教育のフィールドとしては、素晴らしい現場があるのでそれにも触れたほうが良いと思う。それによって、この地域の自然を知って、良さ、誇りを感じてさらに好きになる。そういう面での一文が環境のどこかにあつたら良いと思う。
委員	<ul style="list-style-type: none"> 移住に関して、分譲地ができれば、便利でそこに人が移住する。米原市でも農村部や山間部等にも移住促進をはかっていると思うが、単に自然が好きで、暮らしやすいから移住してもらっても、それは税を使ってまでやることではないと思う。移住するからにはやはり休耕地や、山を守るということ、自治会活動にしっかりと参加する

	<p>ことが前提でないと、単に来てもらって、住みやすいから住んでもらうというだけでは、何の効果も生まないのではないか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の話についてだが、移住者を一括りにするのはどうかと思う。新しい住宅地ができたから来る人と、自然が気に入って、古い家や、山奥の家なりを買って移住する方は、移住の仕方や動機がだいぶ違うと思う。この資料の中では、やはり多いのは分譲地になっている。 ・移住タイプ1、移住タイプ2のように、違うスタイルの移住を一回整理して考える必要があると思う。移住タイプによっては、自治会の活動はしたくない人の割合も変わってくると思うので、移住者と一括りに表現すると、つじつまが合わないところが沢山出てくるのではないかと思う。
会長	<ul style="list-style-type: none"> ・移住についてもゾーニングということを頭に入れたほうが良い。ゾーニングすればある程度解決するものもあると思うので、その概念はどこかで使っていただけると良い。
事務局	<p>4 その他</p> <p>1) 今後の会議開催日程について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・次回の会議は、11/17～21 の間で調整したい。 <p>5 閉会</p>

会議の公開・非公開の別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 傍聴者：0人 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開 一部公開または非公開とした理由 ())
会議録の開示・非開示の別	<input checked="" type="checkbox"/> 開示 <input type="checkbox"/> 一部開示 (根拠法令等：) <input type="checkbox"/> 非開示 (根拠法令等：)
全部記録の有無	会議の全部記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 録音テープ記録 <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
担当課	政策推進部 政策推進課